



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740



2019-2020年度 国際ロータリー第2740地区

ガバナー 千葉 憲 哉

2019. 10
Vol. **4**



ROTARY CONNECTS THE WORLD



2019-2020年度 国際ロータリーのテーマ
ロータリーは世界をつなぐ

表紙の写真説明

秋の陽を浴びて
紅葉するハナミズキ
土に還るまでの
束の間のかがやき
赤い実を道づれに

CONTENTS

国際ロータリーのテーマ	1
Governor's message	2
公共イメージセミナー報告	4
ロータリー財団奨学生壮行会報告	5
米山カウンセラー研修会・ 米山奨学生出前卓話研修会報告	6
インターアクト年次大会報告	7
ガバナー公式訪問クラブ報告	8
会員数・出席報告	14
新会員・物故会員・寄付者紹介	15
地区大会案内	18
芸術家の視点・編集後記	裏表紙

Governor's message



佐賀・長崎地区8月線状降水帯豪雨に思う

2019-2020年度第2740地区ガバナー 千葉 憲 哉

突然の豪雨災害発生

8月28日早朝の線状降水帯が北部九州を通過した。

前夜の大村の公式訪問中、雨が降り始めていたが、早朝5時、豪雨の音に思わず目が覚めた。

T Vでは佐賀・長崎・大分の状況を放映していた。直ちに、12時からの佐賀空港R C、夜の佐賀北R Cの公式訪問ができるかな？と思い、大石地区幹事にメールした。佐賀北R Cはすぐに中止が決まったが、佐賀空港R Cは「ガバナーが来られるなら。」とのこと。7時。高速道路、J R、高速バスの運休がT Vで知らされていた。長崎から佐賀への交通遮断。行けない。9時、佐賀空港R Cからも中止の知らせが届いた。

豪雨のために国道23号線と周囲の田んぼ、河川との境がわからなくなり、交通が遮断され、車が道路？田んぼ？に取り残され、その内、運転者が溺死しているとのこと。大変なことになっている。先日公式訪問したばかりの、武雄R C、大町R Cの会員がいる地区である。幾人かの会員の顔が浮かんた。元気かな？さらには大町町の鉄工所から流失した工業用油と一緒に氾濫した雨水で1キロ下流の順天堂病院が孤立しているとの報道であった。12時。29日予定の佐賀R Cも延期が決定した。

緊急の現地視察開始

その日のうちに全国のガバナー会の皆様から、お見舞いのメールが殺到した。その後、何もできずに2日間を過ごした。こんな時に過去のガバナーはどうしたのだろうか？私は今、どう行動したらよいのだろうか？と自問を繰り返した。3日目の8月30日雨も小降りになったので、被災地をまずは訪問してみようと思い、思いきって第3グループの平岡清宏ガバナー補佐にお電話した。快く「お待ちしております。」とのご返事をいただいた。平岡ガバナー補佐の会社がある武雄に向かった。途中西九州道武雄南I Cと九州自動車道武雄北I Cの合流点の地滑りで高速道路が通行止めになっていた。迂回して武雄北I Cで高速道路を下り、会社まで一般車両が数珠つなぎののろのろ運転。やっと、平岡G補佐の会社に到着した。平岡G補佐が早速、災害の現状を見せる為、案内することになった。

災害現場

会社を出るとすぐに、「左右の道路わきを見てください。」と言われた。道路脇は家庭や会社から出た被災ゴミ・家具などがうずたかく積まれていたが、一斉にごみ集積場に集められ、ずいぶんきれいになったところとのこと。そんなに早く？と思っていたら、平岡G補佐曰く、公共施設の広場が廃棄物の集積場として緊急に用意されているとの説明。市の手際の良さに驚かされた。道路上では前方を走る車は自衛隊の「災害救援車両」との幕。最近では自然災害が多く、公共機関の危機対応が素早くなっている。それでも道路は黄土色の土砂とまだ捨てきれない家庭ごみが残っていました。被災建物は一様に浸水線を示す土が残っており、人々が清掃に必死になっていた。やはり民間の協力は欠かせない。災害ごみを山のように積んだ車両。道路の商店、スーパー、食堂等すべて休業中、後片付けに追われ商売どころではない。車でいっぱい駐車場はお客ではなく、清掃をすべて支援しているボランティアの人の車とのこと。

佐賀平野は地形的に有明海の海面と大差がない位置にある。だから、排水の為に排水設備や満水逆流の



為の水門が各地にある。佐賀平野のやや奥まった位置にある武雄市内全体は道路より低い位置にあり、かつ広い鍋底の形態をしている。だから、豪雨の為、膝～腰くらいの高さまで市内一帯がすべて浸かったのである。おまけに海面との差がないために水はけがよくない。2年前の朝倉の豪雨水害は山やがけの崩落とそれに伴う家屋の崩壊、流失であった。今回の災害はむしろ市街地の浸水被害で、それも短時間で起こった災害である。

平岡G補佐に順天堂病院も案内していただけることになり、国道34号線を東に進んだ。しかし、途中の道は災害支援車で渋滞。なかなか進まなかった。道路の左右の景色に目を移すと、あと片付けのボランティアが必死で清掃や廃物の処理にあたっていた。ボランティアは若者ばかりでなく、高齢者も多数。小雨の中を懸命に動いていた。平岡G補佐が運転しながら、左右を示し、「ここも、そこもロータリアンの会社、店と、わかっているだけでも約15名以上いるだろう。」つい先日公式訪問した大町RCで会食の弁当を作っていた料亭も国道際にあり、被災していた。被災者の中にロータリアンがいることに驚いた。平岡G補佐が「今回油を流出した鉄工所は特殊技術を持ち世界的規模で事業展開している自動車産業の貴重な会社です。社員であることは地元ではうらやましがられるほどの会社であり、もし油流出事故でこの会社の損失が大きいと、佐賀県、いや日本にとって大きな損失です。」と教えてくれた。TVでは知れない現実を平岡G補佐（武雄商工会議所）から教えて頂いた。ついに、順天堂病院に到着した。周囲はまるで湖。TVよりはるかに厳しい現場の状況である。湖と化した水田には救助ボートが数隻。国土交通省の排水ポンプ車、自衛隊の災害派遣車、消防車等。病院の周囲には油のにおい。石垣や壁には水位を示す跡が残っている。油を除去するための作業。官民一体となった支援活動は見ないとわからない。我々は改めて公共機関に守られていることを実感した光景であった。

ロータリーが果たすべき役割

私は「ロータリーが救済の手を差し伸べるにはどうしたらいいのか？」との答えを探しに来たのですが、平岡G補佐は事前に現地を調べておいておられた。「災害支援には、今は人手がほしい。これが現場です。ロータリーの支援として今何をすべきか？の答えはすぐには出ない。募金を渡されても何の目的で、何にどう配分するか？わかりません。」と答えられた。奉仕活動がロータリーの役目とはいえ、突然降ってわいた天災へ対応すべき方法に戸惑っている。今までは他人事、TVの画面で起こっている事。目が覚める出来事である。自分の地区に災害が起こって初めて、災害への対応が即時必要だと痛感された。問題が起きたらその答えはやはり現場にしかない。そこで、答えを出す為に、①現地を見る。②会員と市民にとって必要な支援を考える。③現地クラブと連携することとした。

今日、8月31日からボランティア受付が始まった。

そこで私が自問自答し、考えた方法は

ロータリークラブ、ロータリアンの企業、家族のボランティアを派遣する方法。

時間経過後の必要な支援を見つける方法。

被災で破損した介護施設・病院・児童施設の用品を提供する方法。

とりあえず募金を集めグループ内クラブへ提供する方法。

これだけしか考えつきません。皆さん！他にありませんか？

お手伝いください

とりあえず、地区に募金受け入れ用口座を開設し、募金活動からはじめることとします。

今こそ、「ロータリーって何？」の答えをロータリアン自身で答えを出すべき時である。ロータリーの真価が問われている。

「他人のことを思い、他人の為に尽くす」(奉仕の理念)

「被災された市民のことを思い、被災された市民の為に尽くす」

この理念の実践が必要でしょう。

Join Leaders
Exchange Ideas
Take Action

2019-2020年度 マイロータリー・クラブセントラル セミナー報告

公共イメージ委員会 委員長 久保 泰 正 (諫早西RC)

国際ロータリー第2740地区の2019-2020年度「マイロータリー・クラブセントラル セミナー」を、2019年7月12日(金)諫早のL&Lホテルセンリュウにて開催いたしました。本セミナーには、花島ガバナーエレクト、岩永パストガバナーを始め、各グループのガバナー補佐及び各ロータリークラブの会長・幹事・担当委員長並びに地区委員等関係者130名程にご参加いただき感謝申し上げます。

又当日は、例会開催日にも関わらずご出席していただいた各クラブの皆様には改めて感謝申し上げます。今回のセミナーの特徴としては、各クラブの事務局職員の半数の皆様が出席していただいたことです。ロータリーの情報を地区の全クラブで共有していただく事や、会長・幹事と委員長・事務局職員の緊密な連携、チームプレーを構築することも大きな目的の一つでした。

クラブ会長・幹事の皆様は、クラブの会務統括責任者としてMy Rotary アカウント登録、Rotary Club Central目標設定を実務的に執行する役職になります。今回のセミナーは、My RotaryやRotary Club Centralの趣旨や意義を理解していただく事を目的として、パソコンで具体的に目標入力を実習していただきより深く理解していただいたと思います。またセントラルの入力の補助をしていただく事が多いクラブ事務局職員の皆様にも実習していただいたと思います。

その成果として、Rotary Club Centralの入力がセミナー前は数クラブでしたが、セミナー後には60%以上のクラブに目標を入力していただきました。以上ご報告申し上げます。セミナー開催にご協力いただき本当にありがとうございました。



ロータリー財団奨学生壮行会報告

ロータリー財団委員会 委員長 **岡 村 康 司** (長崎南RC)

さる8月9日、今年度(2019~20年度)ロータリー財団奨学生の壮行激励会が諫早のホテルセンリュウにて開催されました。今年度はグローバル補助金の奨学生2名(青年海外協力隊出身金子浩士君と長崎大学大学院腫瘍外科の谷口大輔君)、地区補助金1名(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科准教授の黒田裕美さん)、ロータリークラブからは千葉憲哉ガバナー、花島光喜ガバナーエレクト、塚崎寛ガバナーノミニーのビッグスリーお三方に財団グループ各委員会のメンバーが出席して豪華な壮行会となりました。

まず、今年度派遣される留学生3名が各研究分野と留学先での研究内容を一人20分~30分で日本語と英語でプレゼンテーションを行い、ロータリアンが質問するという形で話す側聴く側の理解を深めました。全員完璧な英語でプレゼンを行う彼らの姿に、ロータリアンたちはただただ感心するのでした。

プレゼンが無事終わり全員緊張から解放されたように、この後の懇親会ではロータリアンたちと楽しく情報交換をすることができました。

3名の留学先は次の通りです。

金子浩士君：イギリス サセックス大学

谷口大輔君：カナダ トロント大学

黒田裕美さん：アメリカ ラトガース大学

3名の留学生がそれぞれの分野で研鑽を積み、世界で活躍する人材となられることを切に願うのであります。



谷口大輔君 金子浩士君



黒田裕美さん

米山奨学生カウンセラー研修会・奨学生出前卓話研修会

米山記念奨学委員会委員 永 田 章（北松浦 R C）

地区米山記念奨学委員会の行事として、8月25日(日)東彼杵町総合会館を会場に「米山記念奨学カウンセラー研修・奨学生出前卓話研修」が開催され、米山奨学生・カウンセラーおよび地区米山委員36名が参加しました。

午前中は米山奨学生とカウンセラーが2つの会場に分かれ、カウンセラー研修は大家地区委員長の進行のもと出前卓話の注意や、カウンセラーハンドブックやパワーポイントにより米山記念奨学事業について説明が行われました。一方、米山奨学生の研修は本多地区委員の進行のもとに奨学生による半年間の現況報告の後、出前卓話オリエンテーションが行われました。

昼食をはさんで午後よりはカウンセラー・米山奨学生合同により出前卓話の日程調整が行われ、各奨学生の訪問先クラブが決まりました。

米山奨学生の出前卓話をお申込みいただきましたクラブの皆さま大変有難うございました。10月より米山奨学生がお世話クラブのカウンセラー（地区委員が同行する場合があります）とともに皆さまのクラブへお邪魔させていただきます。米山奨学生からは、大学で学習や研究していることや、出身国の特徴など約20分発表が行われます。米山奨学生は米山記念奨学事業に大変感謝をしています。米山奨学生が勉学に勤しむことができるのは皆様による寄付金のおかげです。皆様が寄付をなされた成果による米山奨学生をぜひ温かくお迎えいただくとともに、卓話をぜひお楽しみください。



インターアクト年次大会報告

インターアクト年次大会副実行委員長 北 口 功 幸 (長崎西RC)

国際ロータリー第2740地区2019-2020年度インターアクト年次大会が、8月3日(土)、長崎ブリックホールに於いて開催された。大会テーマの「ともに生きる」を基に、海星高等学校(提唱;長崎西RC)をホスト校として、コ・ホストに、活水高等学校(提唱;長崎出島RC)、純心女子高等学校(提唱;長崎中央RC)、長崎女子高等学校(提唱;長崎RC)、長崎女子商業高等学校(提唱;長崎南RC)の4校の協力を得て、佐賀・長崎両県のインターアクトクラブ20校179名、顧問25名、ロータリアン76名、来賓その他60名の、合計340名の参加で、成功裏に無事終了した。

国境なき医師団日本前会長 黒崎信子様による基調講演は、「生きることをあたりまえの世界に―人道支援の壁―」を演題とし、海外での厳しい環境のもと経験された具体的な支援活動内容を伝えられ、そして、なぜその過酷な支援活動に参加しようと思ったかなど、インターアクトの生徒、顧問はもちろんのこと、ロータリアンも考えさせられることが多々あったのではないだろうか。

また、今年度の大会では3つの分科会を設け、第1分科会は、長崎女子商業高等学校による「海洋ゴミ問題について」。第2分科会は、純心女子高等学校による「車椅子体験」。第3分科会は、長崎女子高等学校による「SNS関係(ネット依存の現状と課題)」とした。各分科会は現在の地域環境問題・社会問題をテーマとし、具体例をあげてディスカッションした参加者は、更に問題意識が深まったことと思う。

さて、本年度の国際ロータリーのテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」である。そして、インターアクト年次大会の大会テーマは「ともに生きる」。さらに基調講演は、「生きることをあたりまえの世界に―人道支援の壁―」と、3つのテーマが「世界」と「生きる」のキーワードで繋がっており、参加いただいた方々には、世界へつながるインターアクトクラブ活動、ロータリークラブ活動を実感し、より良い世の中、より平和な世の中の実現に、思いを強く持たれたことだろう。また、基調講演、分科会を通し、179名のインターアクターだけでなく、全参加者が大会テーマ「ともに生きる」を考え直し、今後の各々の活動を通して、日本で、世界で、貢献する事を新たに誓った一日になったと感じられた。

最後に、長崎西RCでは、許斐会長、劉実行委員長を中心に、ホスト校、コ・ホスト校、提唱RCが参加したキックオフミーティングからスタート。さらに、ホスト校顧問、当クラブの実行委員会メンバーの定期的な打合せ、現場確認、リハーサル等を経て、海星高校のインターアクターも活動自体の大切さ、ロータリアンは青少年奉仕活動の重要性を再確認した、素晴らしい年次大会になったと思っている。



ガバナー公式訪問クラブ報告



佐賀西 R C 7月22日(月)

会長 堤 貞喜 幹事 古川健太郎

クラブ自慢話

①人材の宝庫と言われるくらい先輩陣が数人存在します。

事あるごとに、他クラブの古参の会員さんより佐賀西クラブはすごい方の集まりだと賞賛されます。

その為、ちゃんとしたことをちゃんとしなければ恥ずかしいという風土が定着しています。いい意味でのプレッシャーです。

②創立来連続出席率100%維持クラブ時代のことです。この話は時々、先輩達から聴かれます。『その日は台風による昨夜来の大雨。「月曜日。ロータリー例会だ。何としても12時半までに、商工会館へ着かねばならない！」冠水の道路を車から降り、あとは歩くしかない。膝上まで浸かりじゃぶじゃぶと歩き、例会場までたどり着いた』とか。厳しいような話を懐かしく楽しそうに語られます。

③佐賀西 R C バルーン



大変センスがあって品のいいデザインです。会員一同の自慢です。バルーンの季節には、まず佐賀西クラブのバルーンを大空に捜します。無いと河川敷まで行ってみたくになります。発見すると安心します。新聞や報道でバルーンが、カッコよく紹介されない不満が残ります。

主に以上ですが、親睦を深める夜例会は大変楽しい会になります。分け隔てなく遠慮なく誰とでも気楽に話が出来、また様々なことを教えて頂けます。

最後になりますが、佐賀西クラブの今期活動テーマは「ひきこもり」です。便利になりすぎて、かえって横のコミュニケーションが出来なくなったのが残念です。

この「ひきこもり」になられた方の社会への第一歩となるきっかけづくりをクラブの会員に呼びかけ協力してもらい、会社見学訪問を実施予定です。10月21日(月)9時～4時の間、参加者8名程を集め、会員企業5社程度を回りたいと思います。



伊万里西 R C 7月25日(木)

会長 中山 武重 幹事 井手 利紀

千葉憲哉ガバナー・辻幸徳ガバナー補佐・大石竜基地区幹事を迎えてガバナー公式訪問を開催しました。

前会長・幹事、次期会長・幹事、本年度会長・幹事同席にて懇談会をして当クラブ今期運営方針とクラブ概況説明を報告しました。

ガバナーに於かれましては当クラブのアンケート調査報告により評価、クラブの現状等一定の成果は上がっているものの一部の領域で硬直化が進み、メンバーの意識にもバラつきが見られるとの評価でありました。

当クラブの会員の平均年齢66.5歳で70歳以上20名、69歳以下21名と年齢格差があり意識のバラつきは当然であろうということでその結果、会員の増加にはなかなかつながらないと思います。

そこで、他クラブでは女性会員が入会され会員の増加と会の運営が円滑に進んでいると実例を紹介して頂きました。

西ロータリーに於いて今年進めている「伊万里はちがめプラン」「有田川カワニバルでのアユの放流」「くんちば酒会」等、補助金を受けて市民にアピールし女性会員の加入を勧めて西ロータリーの活性化を図り、奉仕の理想に邁進したいと思います。



ガバナー公式訪問クラブ報告



唐津中央RC 7月26日(金)

会長 宮丸 典子 幹事 坂本 安治

年々「猛暑」となり、暑さの厳しさをだれもが体感する季節、令和元年7月26日(金)ホテル&リゾート佐賀唐津において、千葉憲哉ガバナー、辻幸徳ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしての公式訪問例会を開催致しました。

事前の懇談では、予定時間よりも早く到着していただいたので、たっぷりの時間で親しく緊張(?)せずに現状報告や質問など出来、例会運営上大いに参考になりました。千葉ガバナーは、よく勉強されており各クラブが更に良いクラブとなるようお手伝いしたいとの熱意がバンバンと伝わってきました。

我がクラブの特色は女性会員がいる事です。チャーターメンバーが半数、女性4人、10年未満が半分を占める若いロータリーです。それだけに雰囲気明るく自由に話しが出来る、気軽に先輩会員に相談出来る親睦と交流があります。特色をいかし、女性会員がもっと増えるよう活力あるクラブを目指していきます。会員増を目指し(特に女性会員)他企業種等、団体の女性トップとの交流を計画し、積極的にロータリーをアピールしていこうと思っています。

今年は特に、基本に戻ろうと「ロータリーを知る」例会日を設け、勉強会や卓話を工夫しました。他クラブからのメイクを大いに歓迎致します!

例会では、地区補助金がどのようなプロジェクトを応援しているかを紹介くださり、有意義な訪問例会となりました。猛暑の中の御来訪に感謝しますと共に、ご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



諫早南RC 7月29日(月)

会長 中島 毅洋 幹事 荒木 和美

7月29日(月)12:30の例会にて千葉ガバナー、栄田ガバナー補佐、大石地区幹事にお越し頂き、ご指導を賜りました。千葉ガバナーには前期に行った会員一人一人のアンケートを分析して頂き、その資料を基に諫早南ロータリークラブのいいところ、今後改善が期待できるところについての説明をして頂きました。

諫早南ロータリークラブは以前、大幅な会員減少により、活動自体に支障を来しながら、一人何役もやりながら行事をなんとかやりくりし、少人数でも活動できるCLPを導入してやって参りました。しかし、昨年度、今後もこのままの状態では活動していくかどうかの話し合いを行い、やはり会員増強をしないと負担も変わらず、楽しくやっていけないのではないかとということにたどりつきました。

当クラブでは、今期、例年にも増して会員増強と親睦を目標に活動を行っていきたいと思っています。例会は、月2回ではありますが、継続的に実施している剣道大会とは別に、例会にカウントされない親睦活動を5回、そして新たな事業として秋の諫早のイベントであるののこ祭りへの出店を計画しております。秋のイベント参加ではポリオ募金を中心に物販も行い、当クラブの活動内容をアピールし、新規会員を獲得することを考えております。また、活動を通じて親睦も深められるようにしたいと思います。

現在女性会員が60%を超える状況にあります。その特色を生かした活動が、今期に弱かった点の一つでも改善できたらと思っています。



ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎北東 R C 7月31日(水)

会長 草野 一夫 幹事 前田 秀樹

7月31日(水)、千葉憲哉ガバナー、浦信夫ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催しました。例会前の懇談会においては、クラブの現況、活動計画要旨について「大変コンパクトで、実によく出来ている」とお褒めの言葉をいただきました。

ガバナー卓話では、クラブアンケート調査報告があり、多くの領域で、良好な運営が行われており、他のクラブの範となる、活動、実績も見られ、メンバーの多くは、高い奉仕理念を持っはいるが、一部の領域でコミュニケーション不足、機能不全を指摘されました。全会員で改善に取り組みたいと思います。

その他にも、ロータリー国際大会、Hox遺伝子、L G B Tなど、話題豊富に話され、会員全員がガバナーの卓話に引き込まれていました。また、他クラブの活動など大変、参考になりました。

クラブ会長は『ガバナー公式訪問を機に、その年度の成功への踏み台を得る』とあります。

私も今回のガバナー公式訪問を機に、精一杯頑張ろうと決意を新たにしました。

猛暑の中での、ご訪問に対して会員一同、心よりお礼申し上げますとともに、皆様方のご活躍を祈念いたします。



長崎琴海 R C 8月1日(木)

会長 西村 潮満 幹事 大岩 啓介

当クラブは下記の活動を確実に実践することで、地域への貢献、会員同士の繋がりを深めています。

- ①県立盲学校の水泳授業支援。マイクロバスで学校とプール間の送迎を行う。
- ②新世代会議の開催。高校生達とテーマを決め討議。
- ③放課後等デイサービスはるの樹との交流会。地域の子供達と繋がる。
- ④時津こども食堂の支援。食を通して子供達、地域の方と交流する。

千葉ガバナーからは、地区補助金を使用したプロジェクトを立ち上げ、クラブに合った活動を推進してほしい、また積極的に海外交流も推進してはどうかという意見も頂きました。

当クラブは現在11名で活動しています。例会への出席率が悪く、改善のため、例会の曜日の変更・積極的な夜例会の実施などを通じて、会員が出席できる環境を整えている段階です。

財政面でも非常に厳しい状況ですが、会員全員がクラブ存続という考えで一致しています。千葉ガバナーから地区の方でも応援すると仰っていただきました。また奥様も共にご来訪頂き、諫早南ロータリーでの貴重な体験談・今後当クラブが存続の為、進めるべき点についてご助言頂き、会員一同大変感謝しています。

今後ともよろしくお願いします。



ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎東RC 8月2日(金)

会長 峰 利克 幹事 安達 栄太

前週のガバナー補佐訪問に引き続き、8月2日(金)、千葉憲哉ガバナー、小野原卓嗣ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしての今年度ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

当日は、当クラブより会長、会長エレクト、幹事の3名に対して例会に先立ち懇談の場を設営いただき、今年度が50周年であることも見据えてのクラブ運営方針やクラブ現況及び活動計画についての報告、併せて、当クラブが奉仕事業の一つとして数年来注力している児童養護施設「明星園」とのふれあい活動の紹介やそれに対する地区補助金交付決定に対するお礼、また青少年スポーツ大会（長崎市少年剣道大会）への参加・支援、姉妹クラブ「台湾・高雄西RC」及び友好クラブ「函館東RC」との交流の歴史について説明を行いました。

卓話では、ご準備いただいた多くのスライドを使用して、2740地区全会員に実施されたアンケート調査の結果報告や、そこから導き出された当クラブの強み・弱みなど客観的な視点を基に、直面している会員増強に関してや例会出席率の低率化など50周年である今年を契機に改善すべき指針を示していただき大変有意義な時間となりました。

千葉ガバナー並びに皆様方のご来訪に感謝いたします。



諫早多良見RC 8月6日(火)

会長 若杉 能將 幹事 中村 正博

①今回のガバナー公式訪問を受けて

各奉仕プロジェクトに参加や色んな事業に参加する事を行うには会員増強で安定した人員の確保及び運営費が必要だと思えます。諫早多良見RCも前期から今期にかけて3名の会員増員ができました。現在正会員34名名誉会員1名計35名で運営していますが、各委員会に対しての委員数が2～3名と少ない状況が続いている事から会員増強をもっと行わないといけないと思えます。

②クラブアンケートについて

一部の領域で硬直化が進みメンバーの意識にばらつきがある事から今後の活動の中、少人数で1委員会（2～3名）の活動を行うだけでなく複数の関係委員会で行い、活動協力体制でメンバー意識を高める方法も考えていきたいと思えます。

③グループ内のクラブ交流について

国際ロータリー第2740地区第8グループの5クラブ間での交流として、諫早多良見RCで野球やゴルフを通じて諫早北RCとの交流はあるのですが他クラブとの交流があまり無いようですので、まずは各クラブとのメーキャップをもっと増やしていきたいと思えますし、その中で各クラブの例会の進め方とか諫早多良見RCに無い良い所をもっと増やしていきたいと思えます。

④対外事業（長期事業）としては

毎年、青少年委員会・社会奉仕委員会・ロータリー財団委員会と合同で行う児童養護施設聖母の騎士園とのスポーツ交流を通じて指導や養護施設入所児童の健全育成を支えるプロジェクトや国際奉仕委員会の国際糖尿病支援基金への寄付の継続（インド、ナグプールのアスシャ・マルジヴェちゃん）をいままでも又これからも行っていきたいと思えます。

事業を行った後に皆さんからの御礼の手紙をいただくとロータリーメンバーも元気づけられるし、今後も奉仕活動の一貫として続けていきたいと思えます。



児童養護施設聖母の騎士園の児童・生徒とのスポーツ交流：小長井田原体育館に於いて



食育の後：いこいの村長崎に於いて

ガバナー公式訪問クラブ報告



島原南RC 8月7日(水)

会長 近藤 義光 幹事 隈部 慎吾

当日は酷暑の中、遠方よりお越しくださいまして有難うございます。今やっと、肩の荷が一つ降りて普段の生活に戻りつつあります。各クラブにおきましてもこのガバナー公式訪問は、年間の大きな行事で、ガバナーと膝を突き合わせご指導いただく唯一の場と思っております。本当に私にとって実になった訪問であったと感動しております。

この経験が今後のロータリー活動の潤滑油と思い、そして近くなったガバナー事務所も今後の我がクラブへの大きな原動力になりそうです。

今年の我がクラブの大きな目標として取り上げていた項目が「行動する」との提案通りマンネリ化したロータリー活動を「机の上でいろいろ考えず腕を捲って体動かしてみよう!」と、私の思いと重なったことは偶然にも嬉しかったです。

昨年RYLAを開催させていただきましたが、会員相互が一丸となって成し遂げた感動は今も皆さんの心に残っていると思います。参加して戴いた皆さんからの「よかったです」の声援はひととき大きな団結を作りました。このように少しずつの力が、そして行動が今後の活動計画に大きく経験として培われていくと思います。

この「行動する」を、今年の島原南ロータリクラブの柱として比良ガバナー補佐のお力をお借りしてやっていきたいと思っています。

本当に有難うございました。



嬉野RC 8月9日(金)

会長 中島陽一郎 幹事 原 幸二

嬉野ロータリークラブは青少年健全育成の目的で、平成18年、嬉野市誕生を記念してこれまで14回、「嬉野ロータリークラブ杯 嬉野市少年野球大会」を開催しています。

市内7小学校7チームの参加があり甲子園大会のようにちゃんと入場行進から始まり、開会式、市長の始球式で試合開始、子供たちの両親、おじいちゃん、おばあちゃんたちの参加応援によって盛り上がります。会員数26名の小規模クラブでの運営ですからこのときは全員参加で一致団結、日頃のコミュニケーションづくりに役立っているかと思っています。ただ、最近は少子化の影響でレギュラー9人のチームも出てきました。存続を危惧しています。

嬉野ロータリークラブは今年度、創立50周年（記念式典、来年5月28日開催予定）を迎えます。他クラブからメーキャップに来られたビジターの方からは「和気あいあいで楽しい例会ですね」と、よく言われます。和気あいあいの中にも創立された時のチャーターメンバーの志を大切に思い、時代に応じた改革がすこしでも出来ればと思っています。



ガバナー公式訪問クラブ報告



長崎北RC 8月19日(月)

会長 藤村 昌憲 幹事 木庭 正道

8月19日、千葉憲哉ガバナー、小野原卓嗣ガバナー補佐、大石竜基地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催しました。懇親会ではクラブ運営については当クラブの伝統ある独特な人間尊重委員会などの運営にお褒めの言葉を戴きました。大事にしていきたいと思います。次に本年度の大きなテーマであります活性化について、アンケート調査によりクラブの活性化への道筋についてアドバイスを受けました、特にクラブに受け入れられてないと思われる会員へのコミュニケーションの大事さ、誰も必要とされていない会員はいない、ということ念頭に活動への参加を促し、楽しさを共有することが大事であると助言を戴いて、今後のクラブの活動を進めていきたいと思います。

最後にグローバル活動についてクラブ戦略を立ち上げてはどうかと助言をいただきました。

これからも親睦を深め会員皆成長していきたいと思います。



年長者俳句大会



青少年農業体験



大村RC 8月27日(火)

会長 西川 義文 幹事 俣野 正仁

8月27日ガバナー公式訪問の際は、千葉ガバナー、比良ガバナー補佐、大石地区幹事、松田地区副幹事、ご来訪ありがとうございました。大村ロータリークラブの昨年度の特筆すべき活動を紹介させていただきます。①竹松小学校に図書返却ポスト寄贈②子供の家へヤギ並びに飼育小屋設置。

本年度、大村ロータリークラブはお陰様で60周年を迎えることとなりました。

ロータリークラブ本年度テーマ「一致団結」、創立60周年テーマ「All For One」-Growth Next-です。会員全員で力を合わせて一年間頑張りますので、よろしくお願い致します。

①竹松小学校に図書返却ポスト寄贈



②ヤギのウメとサクラ



③ロータリークラブ年間テーマ「一致団結」



2019年7月会員数・出席報告

グループ	クラブ名	例会数	平均出席率	会員数				当該月			累計
				7月1日	うち女性	当月末	うち女性	新入	退会	増減	
第1グループ	佐賀	4	64.4	74	5	75	5	1	0	1	1
	小城	4	75.3	30	2	31	3	2	1	1	1
	牛津	4	74.5	30	0	33	0	4	1	3	3
	多久	4	73.7	38	5	38	5	0	0	0	0
	佐賀大和	4	72.8	26	6	26	6	0	0	0	0
	小計		72.1	198	18	203	19	7	2	5	5
第2グループ	佐賀西	3	73.0	38	2	38	2	0	0	0	0
	佐賀北	4	65.7	45	1	46	2	1	0	1	1
	佐賀南	4	73.6	38	4	40	4	2	0	2	2
	神埼	4	80.4	37	4	37	4	0	0	0	0
	佐賀空港	3	66.6	18	1	18	1	0	0	0	0
	小計		71.8	176	12	179	13	3	0	3	3
第3グループ	有田	4	69.0	28	0	29	1	1	0	1	1
	武雄	4	90.2	56	5	55	5	0	1	-1	-1
	鹿島	4	89.2	34	4	33	4	0	1	-1	-1
	嬉野	4	87.3	26	2	26	2	0	0	0	0
	大町	4	63.3	11	0	15	0	4	0	4	4
	太良	4	90.0	10	0	10	0	0	0	0	0
第4グループ	小計		69.8	165	11	168	12	5	2	3	3
	唐津	5	91.3	61	0	62	0	1	0	1	1
	伊万里	5	94.5	29	0	28	0	0	1	-1	-1
	唐津東	4	88.1	50	0	50	0	0	0	0	0
	唐津西	5	90.1	34	0	35	0	1	0	1	1
	伊万里西	4	94.7	41	0	42	0	1	0	1	1
第5グループ	唐津中央	4	85.5	37	3	38	4	1	0	1	1
	小計		90.7	252	3	255	4	4	1	3	3
	佐世保	5	100.0	78	0	79	0	1	0	1	1
	平戸	4	75.8	29	2	30	2	1	0	1	1
	北松浦	4	90.0	25	0	25	0	0	0	0	0
	佐世保西	5	79.9	24	4	24	3	1	1	0	0
第6グループ	松浦	5	90.7	26	1	28	1	2	0	2	2
	小計		87.3	182	7	186	6	5	1	4	4
第7グループ	佐世保南	4	100.0	62	0	62	0	0	0	0	0
	佐世保東	4	82.0	23	0	24	0	1	0	1	1
	佐世保北	4	100.0	40	2	41	2	1	0	1	1
	佐世保中央	4	88.7	46	1	47	1	1	0	1	1
	佐世保東南	5	63.5	39	0	40	0	1	0	1	1
	HTB佐世保	5	80.8	23	2	23	2	0	0	0	0
第8グループ	小計		85.8	233	5	237	5	4	0	4	4
	大村	4	91.3	48	4	48	4	0	1	-1	-1
	島原	4	85.6	30	2	30	2	0	0	0	0
	雲仙	4	83.2	14	0	14	0	0	0	0	0
	大村北	5	86.0	24	1	24	1	0	0	0	0
	島原南	5	70.0	25	0	25	0	0	0	0	0
第9グループ	大村東	4	88.5	37	3	37	3	1	1	0	0
	小計		84.1	178	10	178	10	1	2	-1	-1
	諫早	4	81.0	72	0	75	0	3	0	3	3
	諫早北	4	72.3	74	4	74	4	0	0	0	0
	諫早西	4	96.5	45	0	45	0	0	0	0	0
	諫早多良見	4	94.7	32	0	34	0	2	0	2	2
第10グループ	諫早南	3	84.4	14	8	15	9	1	0	1	1
	小計		85.8	237	12	243	13	6	0	6	6
	長崎	4	83.9	74	0	75	0	1	0	1	1
	福江	3	86.7	33	0	33	0	0	0	0	0
	長崎北東	5	82.1	41	3	41	2	1	1	0	0
	福江中央	4	85.4	21	0	21	0	0	0	0	0
第11グループ	長崎西	4	81.7	43	1	44	1	1	0	1	1
	長崎琴海	3	60.0	11	0	11	0	0	0	0	0
	小計		79.9	223	4	225	3	3	1	2	2
	長崎北	4	79.9	80	0	78	0	0	2	-2	-2
	長崎南	4	81.6	72	0	73	0	1	0	1	1
	長崎東	4	75.9	40	2	41	2	1	0	1	1
第12グループ	長崎みなと	4	82.0	30	1	30	1	0	0	0	0
	長崎中央	4	94.7	55	0	55	0	0	0	0	0
	長崎出島	4	78.2	71	12	71	12	0	0	0	0
	小計		82.0	348	15	348	15	2	2	0	0
	56クラブ合計		80.9	2,192	97	2,222	100	40	11	29	29

* 上記の表の新入・退会は当月中の数字で、累計は7月1日から2019年7月末までの増減です。



新入会員紹介

私たちの新しい仲間になりました方々をご紹介します。 ※氏名の下部は勤務先、役職

※今月号に掲載が間に合わなかった新入会員の方のご紹介は、次号に掲載させていただきます。



佐賀 R C

寺谷 烈 君

医療法人TERRA矯正歯科クリニック
院長



小城 R C

柴田 成人 君

(株)弥川
代表取締役



小城 R C

江島佐知子 君

肥前糧食(株)
監査役



牛津 R C

坂井 一弥 君

坂井歯科医院
院長



牛津 R C

坂井 亮嗣 君

(有)タワー工業
代表取締役



牛津 R C

兵働 裕 君

(株)バイオテックス
総務部長



牛津 R C

児玉譲一郎 君

(株)コダマンキ
代表取締役会長



佐賀北 R C

杉野 裕美 君

(株)Hiromi Office
代表取締役社長



佐賀南 R C

森永 亮太 君

森永公認会計士・税理士事務所
代表



佐賀南 R C

佐藤 靖昭 君

ホテルマリタール創世
総支配人



唐津 R C

馬場 正浩 君

(株)馬場薬局
取締役



唐津西 R C

原田 昭治 君

西日本プラント工業(株)玄海原子力総合事業所
事業所長



伊万里西 R C

前田 清浩 君

(有)伊万里グリーンファーム
代表取締役



唐津中央 R C

永松真利子 君

(株)真盛
代表取締役



佐世保 R C

出端 隆治 君

(株)デバタ
代表取締役社長



平戸 R C

山下 剛 君

九州電力(株)平戸営業所
所長



佐世保西 R C

三宅 聡 君

(株)北辰カース
常務取締役



松浦 R C

瀬口 浩光 君

西日本プラント工業(株)
松浦事業所 所長



松浦RC
永田 浩 君
エディオン ナガタ電器
代表者



佐世保東RC
永田 康浩 君
(有)津軽工務店
代表取締役



佐世保北RC
渥美 大介 君
(株)サン・ホールディングス
取締役営業統括



佐世保中央RC
七種 純一 君
(株)親和銀行
常勤監査役



佐世保東南RC
関戸 弘武 君
関戸麹屋
代表



大村東RC
山口 治彦 君
大村湾カントリー倶楽部
ニューコース支配人



諫早RC
森 優伸 君
社会保険労務士事務所オフィスモリ
代表



諫早RC
平沼 正俊 君
(株)平沼商店
取締役



諫早RC
横尾 太郎 君
(有)魚荘ホテルグランドパレス諫早
代表取締役



諫早多良見RC
中島 伸介 君
(有)ハイセイ産業
代表取締役



諫早多良見RC
森 俊英 君
(有)記念品のトミナガ
代表取締役



諫早南RC
瀧野 律子 君
(株)クリエイトオフィス



長崎RC
古賀 隆之 君
西日本電信電話(株)長崎支店
支店長



長崎北東RC
三原 英樹 君
長崎電建工業(株)
顧問



長崎西RC
尾本 久男 君
(株)大和総業
代表取締役



長崎南RC
嶋田 哲也 君
損害保険ジャパン日本興亜(株)長崎支店
支店長



長崎東RC
米濱 誠二 君
(有)ヨネハマ企画
代表取締役



物 故 者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



鹿島 R C
寺川 定男 君
(享年81歳)

寄付者紹介

御厚意に深く感謝申し上げます。認証者の方を掲載いたします。

ロータリー財団		
種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	岩 永 信 昭	長崎北東
マルチプル・ ポール・ハリス・フェロー	隅 康 二	佐 賀 西
	谷 口 優	武 雄
	矢 次 保 夫	佐世保南
	宮 地 学	佐世保南
	山 口 嘉 浩	佐世保南
ベネファクター	野 田 大 介	佐世保南
	光 安 幸 夫	長 崎

米山記念奨学会		
種 類	氏 名	クラブ名
メジャードナー	白 川 十 郎	伊 万 里
	南 野 健	大 村 北
マルチプル	矢 次 保 夫	佐世保南
	小 川 信	佐世保南
	高 木 義 和	島 原
	張 本 民 雄	福 江
米山功労者	中 尾 光 吉	大 村 東
	有 川 一 男	福 江
米山功労法人	(株)松田電工(松田洋一)	諫 早 北



10月24日
世界ポリオデー
クラブや地区で
できること

1

イベントの開催

- ・ロータリーデーの開催
- ・スポーツイベント（マラソンや自転車レース）
- ・チャリティコンサート
- ・街頭募金
- ・地域のお祭りへの参加

2

特別プログラムの ビューイング会

10月24日 日本時間の夕方（暫定）にフェイスブックで世界ポリオデーの特別プログラムがネット配信されます。詳細は国際ロータリー公式フェイスブックをご覧ください。

3

「ポリオをなくそう」の 広告を作成または使用

ブランドリソースセンターにある「世界を変える行動人」の素材の中から「ポリオをなくそう」バージョンをダウンロードして、地元メディアや屋外広告としてご使用ください。

4

ソーシャルメディアで 拡散する

「ポリオをなくそう」の広告やポリオ根絶イベントの情報をクラブや地区のSNSに投稿しましょう。ロータリーの投稿のシェアもお願いいたします。

クラブや地区が実施を予定している
イベントをお知らせください！



左のQRコードで開く
ページから情報をお
寄せください。

<https://endpol.io/reg-ja>

国際ロータリー第2740地区 2019-2020年度地区大会

Program プログラム

2019年

第1日目

11月8日 金

会場/L&L ホテルセンリュウ
長崎県諫早市永昌東町13-29

16:00~ ◎危機管理セミナー

18:00~ ◎歓迎晩餐会

第2日目

11月9日 土

会場/諫早文化会館
長崎県諫早市宇都町9-2

9:00~ ◎エクスカーション

10:00~ ◎大会4委員会・青少年のつどい

12:10~ ◎本会議第1部

14:30~ ◎地区大会記念講演
ケント・ギルバート氏

16:00~ ◎本会議第2部

17:30 ◎点鐘

一般公開
入場無料会場/ホテルグランドパレス諫早
長崎県諫早市宇都町3-35

18:30~ ◎記念懇親会

第3日目

11月10日 日

会場/長崎国際ゴルフ倶楽部
長崎県諫早市小ヶ倉町51地区大会記念
親睦ゴルフ大会

スタート時間 7:30~



地区大会記念講演

ケント・ギルバート氏

11月9日 土 ◎14:30~ ◎諫早文化会館

一般公開
入場無料

1952年、米国アイダホ州生まれ、ユタ州育ち。71年、米ブリガムヤング大学在学中に19歳で初来日。75年、沖縄国際海洋博覧会の際にアメリカ館のガイドとして再来日。80年、大学院を卒業し法学博士号と経営学修士号、カリフォルニア州弁護士資格を取得。東京の国際法律事務所に就職。83年、テレビ番組「世界まるごとHOWマッチ」にレギュラー出演し、一躍人気タレントとなる。近年は企業経営や講演、執筆活動も行う。

夕刊フジ連載「ニッポンの新常識」、読売テレビ系「そこまで言って委員会NP」、DHCシアター「真相深入り! 虎ノ門ニュース」など。



ホストクラブ: 諫早北RC コ・ホストクラブ: 諫早RC/諫早西RC/諫早多良見RC/諫早南RC

国際ロータリー第2740地区大会事務局 TEL.0957-46-3096

〒854-0016 長崎県諫早市高城町 5-10 諫早商工会館 302 号室 FAX.0957-46-3097 <http://www.d2740.org/>

芸術家の視点

地方の時代が叫ばれて久しい。

芸術文化の世界に身を置く人々の中には、以前から中央より地方に軸足を置き、活動した方々がいた。

一般人から見れば、異質の鋭い観察力や豊かな感性で創作に一身を投じたのである。

その成果は作品となって世に放流され、あまねく人々に新鮮な感動を与え続けてきた。

諫早に縁のある画家や書道家、詩人、歌人、文筆家を含む文化人の足跡を辿ると、限られた人生の中で如何にその生を全うしたか、今を生きる者に語りかけてくる。

ガバナー月信の紙面を借りられるこの機会に、皆さんに紹介することにした。

ふるさとを描き残した巨匠

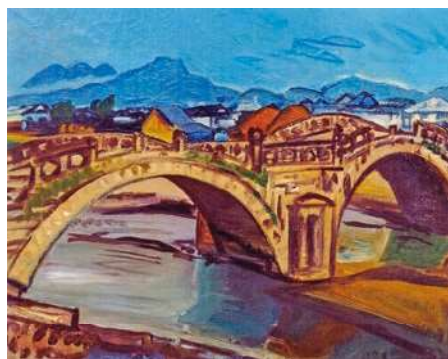
野口彌太郎（洋画家）

恵まれた家庭環境にあって、画家として大きな功績を残していたが、戦禍によって作品のすべてを失う悲運に見舞われた。しかし、その後、父親の故郷諫早に制作の拠点を移し、膨大な作品を描き残した。地元においては、水害以前の眼鏡橋や被害を受けて崩壊寸前の橋にも、画家の目は向けられた。市内中央公民館ロビーの吹き抜けの壁面には、諫早湾の干潟に遊ぶ生き物や天空を舞う野鳥の姿、さんさんと照り輝く太陽が陶板に焼き付けられ、大自然の讃歌が表現されている。

平成二十七年諫早市美術・歴史館開館一周年を記念して、野口彌太郎の大同展が開催されたことは、いまだ記憶に新しい出来事であった。



有明
150.0cm×55.0cm 水彩
諫早市美術・歴史館蔵



諫早の眼鏡橋
72.8cm×90.8cm 油彩
諫早市美術・歴史館蔵

編集後記

秋本番、稔りの季節を迎えたが、今年も隣県佐賀では水禍に見舞われ、一日も早い復旧を祈るばかり。十月より、消費税10%の導入、諸々の経済活動での影響は必至。地区大会の準備は順調にすゝんでおり、皆様に会える日を心待ちにしている。

（緒方）